

### 産前産後における母子保健サービスについて

寺本 真理 議員

産前産後の母子保健サービスは、産後期は、産後ケア事業や乳児健診などを行うなど、妊娠、出産、子育て期まで、切れ目のない支援を行っています。

訪問型の産後ケア事業について考えを伺います。

助産師等が対象者の自宅に赴く訪問型は、心身のケア

### 新鎌ヶ谷駅～北初富駅間の緑道、および北初富駅周辺について

徳野 涼 議員

新鎌ヶ谷駅から北初富駅間の緑道の役割を伺います。

緑のネットワークの実現のため、両駅の周辺地区の回遊や移動を可能とする緑道として、市民の利便性の確保とともに、緑の配置により、市民のコミュニティ、憩い、健康増進の場としてリフレック

### 学校給食について

矢崎 悟 議員

成長期や運動量など個々の違いから、給食の分量の過不足の課題がありますが、配膳時に個人の喫食量に応じて調整することにより、完食の達成感や食品ロスの削減に繋がると考えますが市の見解を伺います。

### オーガニック、有機食材の給食への導入及び給食費の無償化について

針貝 和 幸 議員

有機食材使用の現状について伺います。

安全な食材の購入に努めており、有機食材までは求めていませんが、有機栽培と表示のある品物が納品されることがあります。

有機栽培の品物は意図的な納入なのか伺います。

や育児サポートなど実践的できめ細やかに提供できるものと認識しており、他市の実施方法や市民ニーズ、その効果などを検討していきます。

今後の産後支援の取組について伺います。

これまでの取組を改善しながら継続するとともに、新たな取組の一例として、産後健康診査の自己負担額の一部助成について検討します。

公園・緑地・広場ゾーンは、緑に触れ合うことができ、市民のコミュニティ、憩い、健康増進の空間としての活用を図ります。

緑道内に飲食店などを整備する予定はありますか。

現在、飲食店などの整備の予定はありませんが、市民の意見を参考にしながら整備を進めていきたいと考えます。

もを安心して産み育てられる社会の実現に向け、本市の無償化に関する見解を伺います。

令和5年度の学校給食費の公費補填の予算約5千400万円により、県内市町村の平均より保護者負担額を低く抑えています。国は、無償化の方向性を示しているため、その動向を注視しつつ、適切な対応を模索していきます。

### 自転車の交通安全対策について

葛山 繁隆 議員

本市の取組について伺います。

小中学校等において、警察や交通安全協会と連携した体験型の自転車安全教室や中学生を対象としたスタントマンによるスケアード・ストリート自転車交通安全教室を実施し、また高齢者に対しても自転車の正しい乗り方を講話や実技で教える交通安全教室を実施しています。

自転車利用者のヘルメット着用に関する市の認識を伺います。

警視庁交通局によると、平成30年からの5年間で、自転車乗用時に交通事故で死亡する方の6割が頭部に致命傷を負っており、ヘルメット未着用者の致死率は着用者の約2.1倍であることからヘルメットを正しく着用することが、命を守ることに繋がると認識しています。このため交通安全教室を通じて、ヘルメットの着用の重要性を説明するとともに、広報やホームページで周知を図っていきます。



交通安全教室の様子

### 市内のサークル、団体活動について

後関 俊一 議員

公共施設において活動しているサークル、団体に対する支援について伺います。

毎年度「サークル・団体一覧」を作成し、活動内容を広く紹介するとともに、ホームページに掲載し、希望者は印刷した冊子を提供し、興味を持たれたサークル、団体を紹介するなど、新規会員加入に繋がるよう案内をしています。

市民活動推進センターにおいて、団体の運営や活動に関するだけでなく、異なる活動を行う団体同士が協力して地域の課題に取り組む協働についても、経験豊かなアドバイザーが積極的に相談を受けています。

### 鎌ヶ谷市における健康寿命の延伸に向けた取組について

山中 優宏 議員

コロナ禍で減少した高齢者の運動及び社会参加を促進するため、公民館等での参加型イベント、老人憩の家や談話室などの拡充について伺います。

老人憩の家や談話室などの増設要望があった際は随時

支援を検討しますが、現在策定中の新たな高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画でも健康づくりや社会参加の推進を検討していきます。

各種取組や制度の認知度をどのように向上させますか。

地域活動等については、

### ごみの減量化に向けた本市の対応等について

鈴木 哲也 議員

生ごみ処理器「キエーロ」の特徴について伺います。

「キエーロ」は、土の中のバクテリアを利用し、生ごみを消滅させる生ごみ処理容器で、用意するのは黒土のみとなります。食用油やカレーなども投入できるなど、投入物の制限はほぼ無く、生ごみを土に埋めるため、臭いの発生を抑えられ、分解後の土は堆肥として使えます。電気式ではないことから、維持経費がかからず、小型のもので、マンションのベランダ等に置けるなどの特徴があるようです。

「キエーロ」の購入に対する補助について、市の見解を伺います。

### 北千葉道路地下化への計画変更について

伊藤 仁 議員

北千葉道路計画の進捗状況について伺います。

鎌ヶ谷区間は、まだ事業化に至っておらず、引き続き国や県に早期事業化を要望していきます。

北千葉道路早期整備の課題を伺います。

コスト削減と事業期間を

短縮し、できる限り早期整備を目指すため、専用部の自動車専用道路は高架構造を基本としています。他の事例から地下構造は高架構造に比べ事業費がおおむね2倍から3倍であることが確認できました。

高架も地下も実際の積算をした上でコスト比較をすべきか。

令和5年2月の千葉県議会で、仮に市からの変更要請があれば、適切に対処するとの執行部の答弁がありました。が、本市では計画の変更を考慮していません。

### 校則の見直しについて

佐藤 剛 議員

学校の校則の内容や改正手続きなどの策定の在り方、公開の状況などに問題がある場合には、各学校だけに任せず、教育委員会としても校則を調査したうえで、学校の主体性を尊重し、一定の方向性を示す必要があると考えますが、見解を伺います。

現在、定期的な校則の調査は行っていません。各学校の状況により校則の内容が異なるため、一概に指導することは難しいと考えますが、各

広報やホームページ、公民館等への掲示などで周知を図り、また、フレイル予防などは、郵送や訪問等により個別に情報提供を行っています。そのほか、認知症施策については、幅広い年齢層を対象に認知症サポーター養成講座の継続や、令和5年3月から新たにLINEを活用することで、当該登録者にプッシュ型通知による周知も図っています。

「キエーロ」は生ごみ処理槽のタイプに該当するため市の補助対象になるものと考えています。市としても、特定の機種を推奨することなく市民のライフスタイルに合った生ごみ処理容器等を活用できるように、今後も調査研究しつつ啓発活動を行っていきます。

市民にとって大事な問題は、この道路をまちづくりという観点から考えることです。そこで、地下構造に変更することは可能かと考えますか。

令和5年2月の千葉県議会でも、仮に市からの変更要請があれば、適切に対処するとの執行部の答弁がありました。が、本市では計画の変更を考慮していません。

学校には必要に応じて他校の状況を情報提供することや生徒指導要領を基に指導助言することについて検討していきます。また、校則の公開については、学校内外の関係者が参照できるようにしておくことが必要であるため、今年度中に進捗状況の確認を行い指導助言していく予定です。